

# 連合胆江 NEWS

連合岩手胆江地域協議会

発行責任者 高橋清明

発行日 2025年8月1日

2025年 NO. 7

TEL 0197 (22) 5505 fax 0197(22) 6577 E-mail : [tanko@iwate.jtuc-rengo.jp](mailto:tanko@iwate.jtuc-rengo.jp)

「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ、ノーモア・ウォー」

## 戦後・被爆 80 年の節目、胆江地区平和集会を開催しました

7月29日(火)胆江地区勤労者教育文化センターの会議室をお借りして、胆江地区平和集会を開催しました。(連合胆江、胆江地区労、胆江友愛会、胆江原水禁の四者が主催)

戦後・被爆80年を迎え、戦争の記憶は遠くなりつつあります。しかし、広島・長崎をあわせ、21万人の尊い命を奪った原子力爆弾の負の遺産は80年たった今でも消えず、昨年だけでも両市合わせて8,200人を越える人たちの命を原爆症で奪っています。

昨年末日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、「核兵器禁止条約」への早期署名・批准を求める大きな声となっています。日本政府に対し、「核兵器のない世界」の実現に向けたリーダーシップを発揮するよう強く求めています。

戦争がもたらした惨禍と非人間性を決して忘れず、平和の尊さを次の世代に語り継ぎ、核兵器廃絶・世界の恒久平和の実現・安心して暮らせる社会の実現を求めた集会になりました。



進行は山崎副実行委員長 開会は佐々木副実行委員長



主催者を代表して千葉実行委員長は、戦後80年の節目に平和を語り継ぐことの大切さを訴えました。



集会スローガン発表は 県内3コースで平和運動が行われている 菅野実行委員 ことを報告する柳田県平和運動実行委員

戸松副実行委員長より集会アピール『核兵器廃絶』と「世界の恒久平和」の実現に向け、粘り強く運動を展開していくことを戦後・被爆80年の藤目に宣言する』



高校生平和大使スローガン「微力だけれど無力じゃない」を例に「一人の小さな手」を歌う佐々木友美子推薦議員

